

協働による地域づくりに関する指針

資料編

群馬県

(1) NPO法人向け動画作成セミナーを開催

協働の主体 **NPO** × **企業**

群馬NPO協議会

有限会社ZOBIエンタープライズ

協働の内容

群馬NPO協議会は、NPO・ボランティアに関する相談や市民活動支援のためのセミナーを行っています。

群馬NPO協議会が市民活動に活かす動画活用セミナーを開催するにあたり、講師が見つからずに困っていたところ、県戦略企画課から動画制作のプロフェッショナルである有限会社ZOBIエンタープライズを紹介されました。県を通じて依頼したところ、「スタッフの良い経験になる」という社長の考えにより、企業の社会貢献として協力してもらえることになりました。

研修では、動画配信セミナー、動画配信セミナーを行いました。

協働の効果

企業にとっては、セミナーへの協力が新聞やブログに取り上げられ、イメージアップにつながりました。また、初心者を目線に立って教えるため、スキルを見直す良い機会となるとともに、スタッフ自身の理解が深まるとともに、経験の幅が広がりました。

群馬NPO協議会は、現場で活躍している方から講義をいただくことができ、NPOのPR活動に役立つ動画セミナーが開催できました。



(2) 地域の子ども向けに「バスケット教室」を開催

協働の主体 **NPO** × **企業**

NPO法人 みんなのおうえん団

株式会社ヨコオ



協働の内容

株式会社ヨコオが地域の子ども向けに、「群馬クレインサンダーズ」のコーチ陣を指導者として招いた、「バスケット教室」を開催しました。そのバスケット教室にNPO法人みんなのおうえん団の学生部スタッフが、コーチの補佐としてボランティアを行いました。

また、高校生がボランティアとして関わっており、NPO法人みんなのおうえん団の学生部スタッフがサポートを行いました。

協働の効果

富岡市のバスケットチームの生徒に、プロ選手を導いているコーチ陣からバスケットを教わるという貴重な体験を提供できました。また、富岡市でバスケットチームに所属している子ども達とNPO法人みんなのおうえん団の学生スタッフが交流できました。

企業にとっては、参加者にスポーツを通じた社会貢献によって、活動を知ってもらうことができました。さらに、地域のスポーツ少年団と連携し、子どもたちのスポーツ振興を図ることができました。

(3) 企業の協力で地域に交流の場を提供

協働の主体 NPO ✕ 企業 ✕ 教育

株式会社ジンス 病気のこどものためのあそびブランド「POCO!」
パルシステム 共愛学園前橋国際大学短期大学部
群馬県青少年会館 NPO法人バレエノア、NPO法人共にくらす



協働の内容

期間限定で事業所内に作られた交流の場「JINS PARK」利用の一般公募を行い、敷地内でのマルシェ、ワークショップ開催、作品展示、イベントの開催などを行いました。

協働の効果

公民館のような利用制限が比較的小さいため、JINS PARKで団体がイベントを開催する機会が増え、活動の活性化が促されました。

人々が集まり、利用しやすい場でイベントを開催することで、より多くの人に活動を知り、興味を持ってもらうきっかけになりました。また、イベント開催を通じて他の団体同士で交流する機会が生まれ、地域の人々が集う場をつくることで生まれる交流や、人々に楽しい時間を提供できることで地域活性化につながりました。

(4) 協働によりまちづくりイベントの開催

協働の主体 NPO ✕ 企業 ✕ 地域 ✕ 行政

NPO法人マチイロ

渋川市・渋川市社会福祉協議会

地域住民・学生ボランティア・事業者

JR東日本

協働の内容

過疎化が進む敷島駅前活性化のために、JR上越線の敷島駅前を歩行者天国として、子ども向けの縁日、キッチンカーや屋台、ダンスなどの各種ステージパフォーマンスなどを行う協働のまちづくり活動を行いました。来場者は3000人を超える盛況となりました。

この取り組みは、コロナ禍で地域おこし協力隊が十分に活動できないという課題から始まり、地域とのつながりを深めるため、地域の歴史や文化を共有しながら、実行委員会形式で取り組みました。

協働の効果

さまざまな立場の人が対等に関わり、「誰もが参加できるまちづくり」となりました。また、若者や学生の参加が広がり、次世代の担い手育成にもつながりました。

実行委員会形式により開催しましたが、地域内に信頼や協力の土台が築かれ、関係者間のつながりも深まりました。

参加者は、一人ひとりが得意なことを活かした結果、地域に貢献できたという実感が生まれました。また、蒸気機関車の停車や多くの来場者の訪問など、地域の魅力を伝える特別な体験が実現しました。



(5) 制服の無償譲渡会の開催

協働の主体 NPO ✕ 企業 ✕ 教育

有限会社ココア

前橋市内の11の中学校とPTA



協働の内容

洗濯工房ココアと前橋市内の中学校・高等学校、PTAが連携して、制服リユースの取り組みを行っています。

不要な学生服を学校の提供BOXで回収(または洗濯工房ココア店舗持込み)し、洗濯工房ココアでクリーニング加工します。その後、清潔な状態で保管し、連携校等の譲渡会で必要な児童・生徒へ無償で引渡しを行います。

協働の効果

学校と連携することにより、制服の回収量を効果的に増やすことができました。また、学校側からの譲渡会の開催周知を行うことにより、必要な家庭に制服を譲渡することができた。使わない制服をリユースすることによりゴミの減量化ができ、企業、学校で地域ぐるみの脱炭素活動への参画が可能になったほか、制服を無償提供することで家計の負担軽減につながりました。

(6) 科学の面白さを実感してもらう「群馬ちびっこ大学」を開催

協働の主体

企業



教育

太陽誘電株式会社

国立大学法人 群馬大学



協働の内容

主に小中学生の子どもたちを対象に、実験や工作等を通じて科学の面白さを実感してもらいこれからの時代を担う人材を育むために、太陽誘電株式会社をはじめとする県内企業や他機関の協力を得て、ブースを出展・運営してもらいました。

ブースでは、遊びながら電気の流れを楽しく学ぶ「イライラ棒に挑戦してみよう」や、ビーズ使ってDNAの模型を作る「命の司令塔-DNAを学ぼう」などがありました。また、「協賛」というかたちで、運営を人・お金の面からバックアップしました。

協働の効果

企画は教員と学生が共に考え、大学の知名度を生かしながら、地域の“知”の拠 点として大学内外の他機関や企業との連携の場を提供できました。企業としては、地域に根差したイベントに出展することで企業のイメージアップや広報効果につながりました。またイベント当日のブース出展は、子供たちとの触れ合いにより、若手社員の学びの場にもなりました。



(7) 企画列車を活用した地域賑わい創出事業

協働の主体 **NPO** × **企業** × **教育** × **行政**

わたらせ渓谷鐵道株式会社

(一社) きりゅう市民活動推進ネットワーク

桐生市・みどり市・日光市

株式会社 怖がらせ隊・地元高校生

協働の内容

地方鉄道のわたらせ渓谷鐵道は、沿線地域の過疎化などを理由として、輸送人員の減少が続いています。

こうした状況の中、鉄道路線全体で企画列車を運行する事業を行いました。

株式会社怖がらせ隊のレクチャーのもと、ボランティアで参加した地元高校生がゾンビに扮し、列車の中で乗客を怖がらせる(楽しませる)「ZOMBIE TRAIN」を運行しました。

協働の効果

次代を担う高校生がボランティアでゾンビに扮して参加することから注目を集めることができました。テレビ、新聞社等多数のメディアの取材を受けた結果、今まで興味を示していなかった若年層の乗客増にも結びつき、沿線各地域の周遊観光の幅を広げ、沿線自治体の賑わい創出につながりました。

